

第96回メーテー2025 働くものの団結で生活と権利を守る！ CU東京の仲間、団結して



5月1日は、第96回メーテー2025でした。

CU東京の仲間は、中央メーテー（代々木公園）三多摩メーテー（井の頭公園）に分かれて参加しました。

〈総会を開きました〉

第16回定期総会

CU文京支部



コミュニティユニオン東京文京支部は、2025年4月29日(火曜日・祝)に、CU東京文京支部第16回定期総会を文京区民センター3Dで開催しました。

2024年度一年間の活動総括報告や労働相談、解決事例等を小川書記長が詳細に報告し、参加された組合員から熱心で活発な議論が展開されました。採決では来期2025年度一年間の運動方針を確立し、決算報告・予算案についても熱心で活発な議論がされて、組合員から可決承認されて、新執行部では益子執行委員長以下の新執行委員が選任されました。

来賓として、文京区労働組合協議会大谷議長から挨拶をいただきました。またコミュニティユニオン東京本部の寺川副委員長から激励を兼ねた挨拶がありました。最後に須賀新執行委員の音頭による「団結ガンバロー」が行われ、すべて無事に終了しました。

参加していただきました組合員26名の皆様、御協力有難うございました。

2025年度の執行委員は次の方に決まりました。

執行委員長 益子 茂

副執行委員長 佐々木 早苗

書記長 小川 富弘

書記次長 湯本 弘美 赤澤 一嘉

執行委員 熊崎 徹典 梶原 理子

見上 郁子 鈴木 志麻

坂本 尚子 寧 茜 須賀 和男

会計監査 伊東 弘子

特別執行委員 伊藤 弘 伊東 弘子

大塚 とよ子

《活動報告》

「15周年記念のつどい」成功に 江戸川支部



江戸川支部は、今年CU結成15周年を迎えました。記念すべき年の「春の拡大月間」では必ず拡大目標を達成しようと、執行委員会で確認し合いました。

毎月の支部ニュース、駅前宣伝で呼びかけたりする中、事業継承した障がい者グループホームの就労条件不利益問題を団交では正した事で、そこで働く数人が新たに加入。また、以前雇い止めの問題解決させた組合員が、現在就労している職場で退職勧奨を受け苦しん

第17回CU東京定期大会 告知 日時 6月29日（日）13時30分開会 会場 東京労働会館7階 ラパスホール

CU東京の代議員定数は規約第14条(大会の開催)により、3月末人員にて支部組織人員50人に1人(24捨25入)の定数にて代議員選出をいただくよう要請します(各支部定数は表参照)。また、特別代議員を若干名選出することができます。女性、青年組合員の参加にご配慮をお願いします。なお執行委員は代議員を兼ねることができません。

でいる労働者に組合を紹介、加入して現在闘っています。民間保育園での残業不払い問題で、組合員が同僚を組合に誘い共に請求しています。

このように組合員が自らの労働争議を通じて、江戸川支部に信頼を寄せ組合加入を勧めてくれるケースが目立っています。直近では、執行委員とのつながりで江戸川区の福祉職場を退職した組合役員が加入してくれました。

15年10年という時を経てもずっと組合員でいて下さっている方々の支えがあって、今の江戸川支部があります。「15周年記念のつどい」(5/8)では、新旧組合員の交流を行い次世代に繋げる契機に行きたいと思っています

(江戸川支部 新木輝代)

女性会議総会開く

4月25日

4月25日（金曜日）「第1回女性会議総会」が、開かれました。

まず、菊池友里東京地評女性センター事務局長からご挨拶をいただきました。報告は、伊東弘子議長が行い、その後、昼食をとりながら、自己紹介を兼ねて今までの経験で問題があると感じたことや、女性差別だと感じたことなどたっぷりと語っていただくことができました。

参加者の皆さん素晴らしい感性をしていて、その人生の貴重な経験からの想いに感動しながら、これから進んでいく道が照らし出されたような感覚が迫ってくるような発言でした。日々生きて働いていく中で「問題だ」「おかしい」「差別だ」と感じることから、私たちの要求と闘いが始まります。感じる事、悲しむこと、怒ること、悔しがること、「なめるな」と思う事、

「今に見ていろ」「負けない」と自分を奮い立たせることなどです。自由にあるがままに話せる場所を作ることは、まだまだ女性にとって必要なことです。これらの感情に寄り添うことを大切にしていきたいと思える総会になりました。

今後は、仲間を一人ぼっちにしないよう女性会議の場が居心地の良い場となるよう努力しましょう。愚痴や悩みには、寄り添った支援を目

「CU東京 15年」

第8回 石垣 雅之（三多摩地本）

1990年代にバブル経済が破綻し、日本の経済が毎年落ち込んでゆき、日本中活気が無くなつて行くような年が続きました。

そんな時代に、「自民党をぶっ壊す」の名言？で総理大臣になった小泉氏が、利益を出せない企業でも利益を出せる手段として、企業のリストラ再構築「構造改革」を押し出しました。退職の奨励や首切り等々により、企業の赤字を上回る利益が出せるとのこと、多くの企業がこれを取り入れました。

正規社員が減り続け、派遣労働者や臨時雇いの非正規労働者が増え続けました。結果、日雇い派遣村などがマスコミに取り上げられ、社会問題化しました。

そんな時、私の所属する東京土建組合に、一人でも入れる労働組合「コミュニティユニオン東京」を立ち上げるので協力してくれないか、との依頼がきました。建設職人の組合でないと反対意見もありましたが、おおむね賛成協力することになりました。ただ略称が「CUT」カットはないだろうとの意見があり、公募の結果「CU東京」となり、現在に至りました。

こみゅーとニュースなど組合員の皆さんに様々な情報をお知らせします。公式アカウントのお友達登録をお願いいたします。

LINE公式アカウント

友だち 募集中

@667ckybg

LINE@登録する





指しましょう。意思決定の場に女性の参加をと声を上げていきましょう。と決意を新たにしました。

「CU東京はこんな組合」 組合加入の説明

新加入者（加入予定者）向け説明リーフレットです。（CU東京の取り扱い説明書・トリセツ）

労働相談後の定着と理解を促し、解決金めぐる誤解や齟齬を除き、組合費納入や共済制度について紹介します。労働相談初回や加入時に渡して、組合の仕組みについて概要を説明します。

内容は、労働相談の権利と事例

組合の存在意義と役割

賦課金の説明

共済制度と組合費引落し制度



ご紹介 (事務局)

川村佳乃さん (地域労組こうとう)

3月よりCU東京の事務の仕事を始めました、川村佳乃です。

以前もCU東京の事務の仕事をしておりましたが、今回また仕事をさせていただきました。



好きなことは映画館で映画を観ることですが、実際はなかなか行けずにいます。

まだ不慣れなことが多いですが、よろしくお願ひいたします。

コメの価格が2倍に驚く。先進国で食糧自給率は最低なのは、農業従事者が2000年の240万人が、23年は約116万人にまで減少しているからだ。1993年は冷夏で不作になり輸入米に頼った。匂いがひどく、翌年8月末に早場米が出たときのホッとした記憶はまだある■終戦翌年の5月19日に食料メーカー(飯米獲得人民大会)が開催され25万人が皇居前に集結。直前1日に戦後初のメーカーは「働くだけ喰わせろ」と東京で50万人が集まっている。戦中戦前に解散させられた労働組合がわずかな期間に甦った。まだ新憲法はできていなかったが国民主権を現実の力にした■エンゲル係数、消費支出中の食料品割合で生活水準をはかるが、日本は2014年ころから急速に上がっている。アベノミクスの時期と重なる。円安で輸入食品が上がり、賃金は抑制、非正規労働者が増え、消費税率が上がった時期だ■政治は生活に直結する。参議院選は消費税減税・廃止が一大争点。戦後すぐの怒りを再び燃やせるか、問われる。